

数 学 問 題

(試験時間 11 : 30 ~ 12 : 30)

受験についての注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはならない。
2. この問題冊子は 8 ページある。
3. 試験中に問題冊子のページの脱落等に気付いた場合は、手をあげて監督者に知らせること。
4. 解答用紙に受験番号を記入し、マーク欄にマークすること。また、氏名とふりがなを記入すること。
5. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、汚したりしないこと。
6. 解答用紙への記入には必ず HB の黒鉛筆を用いること。シャープペンシルなど他の筆記用具を用いると、正確に読み取れない場合がある。
7. マーク式の解答にあたっては、解答用紙の該当する箇所を右に示す例に従ってぬりつぶすこと。
8. 一度記入したマークを消す場合には、消しゴムできれいに消すこと。×をつけても消したことはない。また消しゴムのくずを完全に取り除いておくこと。
9. 解答がマーク式でないものについては、指定の箇所に解答を記入すること。
10. 解答用紙の指定された場所以外には何も書いてはならない。
11. 選択問題 **4** と **5** はどちらか一方を選択してマーク欄にマークし、選択した方の問題を解答すること (マーク欄にマークがない場合は採点されない)。
12. 計算には問題冊子の余白あるいは別に配布する計算用紙 (白紙) を使用すること。
13. 辞書機能、計算機能をもつものを使用してはならない。
14. 携帯電話の電源は切っておくこと。身につけたり机の上に置いたりしてはならない。
15. この問題冊子は試験終了後持ち帰ること。

例

良	不良
	 

解答上の注意

解答上の注意は裏表紙に記載してあるので、この問題冊子を裏返して必ず読みなさい。ただし、指示があるまで問題冊子を開いてはならない。

1 以下の空欄ア～ウに入る選択肢の番号を解答欄にマークし、空欄エ～クに入る数字をそれぞれ解答欄にマークしなさい。

問1 初項 a 、公比 r とともに正である等比数列 $\{a_n\}$ に対し、

$$S = a_1 + a_2 + a_3 + \dots + a_n, \quad T = \frac{1}{a_1} + \frac{1}{a_2} + \frac{1}{a_3} + \dots + \frac{1}{a_n}$$

とおく。このとき、

$$\frac{S}{T} = a^{\text{ア}} r^{\text{イ}} \text{ であり、 } a_1 a_2 a_3 \dots a_n = \left(\frac{S}{T}\right)^{\text{ウ}}$$

である。

ア～ウの選択肢：①1 ②2 ③-2 ④ $\frac{1}{2}$ ⑤ n ⑥ $-n$ ⑦ $\frac{n}{2}$ ⑧ $n+1$ ⑨ $n-1$

問2

$$\frac{1}{\frac{1}{\log_2 x} + \frac{1}{\log_3 x} + \frac{1}{\log_4 x}} = \log_{\text{エオ}} x$$

問3 $0 < \theta < \frac{\pi}{2}$ に対して、 x についての3次方程式

$$x^3 + px^2 + qx - \frac{1}{4} = 0$$

の3つの解が $\sin\theta$ 、 $\cos\theta$ 、 $\tan\theta$ であるとき、 $\theta = \frac{\text{カ}}{\text{キ}}\pi$ 、 $p = -\frac{\text{ク} + \text{ケ}\sqrt{\text{コ}}}{\text{サ}}$ 、

$q = \frac{\text{シ} + \text{ス}\sqrt{\text{セ}}}{\text{ソタ}}$ である。

② 座標空間に、球面 $x^2 + y^2 + z^2 = 9$ と、その上の点 $A(3,0,0)$, $B(0,3,0)$, $C(1,-2,-2)$

がある。以下の空欄 \square ~ \square に入る数字をそれぞれ解答欄にマークしなさい。

問 1 $\vec{AB} \cdot \vec{AC} = \square$ であり、 $\triangle ABC$ の面積は $\square \sqrt{\square}$ である。

問 2 $\triangle ABC$ の外接円の中心の座標は、 $\left(\begin{array}{c} \square \\ \square \end{array}, \begin{array}{c} \square \\ \square \end{array}, -\square \right)$ である。

問 3 原点 O から平面 ABC に下ろした垂線の足を H とするとき、 OH の長さは $\frac{\sqrt{\square}}{\square}$ である。

問 4 点 P が球面上を動くとき、四面体 $PABC$ の体積の最大値は $\square + \square \sqrt{\square}$ である。

- 3 座標平面上に放物線 $C: y = x^2$ と直線 $l: y = \frac{1}{2}x + \frac{1}{4}$ がある。以下の空欄ア～シに入る数字をそれぞれ解答欄にマークしなさい。また問 4 については、解答用紙裏面の解答欄 A に記入しなさい。

問 1 l 上の点 $\left(1, \frac{3}{4}\right)$ から C に引いた 2 本の接線の方程式は

$$y = \boxed{\text{ア}}x - \frac{\boxed{\text{イ}}}{\boxed{\text{ウ}}} \text{ と } y = \boxed{\text{エ}}x - \frac{\boxed{\text{オ}}}{\boxed{\text{カ}}}$$

である (ただし $\boxed{\text{ア}} < \boxed{\text{エ}}$ とする)。

問 2 l 上の点 $\left(-\boxed{\text{キ}}, -\frac{\boxed{\text{ク}}}{\boxed{\text{ケ}}}\right)$ から C に引いた 2 本の接線は直交する。

問 3 前問の 2 本の接線と C との接点を A, B とするとき、直線 AB と放物線 C とで囲

まれる部分の面積は $\frac{\boxed{\text{コ}}\sqrt{\boxed{\text{サ}}}}{\boxed{\text{シ}}}$ である。

問 4 座標平面上の点 P から放物線 C に 2 本の接線が引けるためには、P が $y < x^2$ を満たす領域にあることが必要であることを証明しなさい。

選択問題（ $\boxed{4}$ か $\boxed{5}$ の、いずれか1問を選んで解答しなさい。解答用紙に選んだ問題の番号をマークしなさい。）

$\boxed{4}$ 正八角形 OABCDEFG の頂点 O に太郎と花子がいる。1 個のさいころを交互に投げ、1 回目は太郎、2 回目は花子、3 回目は太郎、4 回目は花子、…のように、出た目の数だけ太郎は $O \rightarrow A \rightarrow B \rightarrow C \rightarrow \dots$ の順に、花子は $O \rightarrow G \rightarrow F \rightarrow E \rightarrow \dots$ の順にそれぞれ頂点を移動する。以下の空欄 $\boxed{ア} \sim \boxed{サ}$ に入る数字をそれぞれ解答欄にマークしなさい。

問 1 2 回目が終了したとき、2 人が同じ頂点にいる確率は $\frac{\boxed{ア}}{\boxed{イウ}}$ である。

問 2 3 回目が終了したとき、2 人が同じ頂点にいる確率は $\frac{\boxed{エ}}{\boxed{オ}}$ である。

問 3 4 回目が終了したとき、2 人とも頂点 A にいる確率は $\frac{\boxed{カ}}{\boxed{キク}}$ である。

問 4 2 回目が終了したとき、2 人がいる頂点と頂点 O を結ぶと二等辺三角形になる確率は $\frac{\boxed{ケ}}{\boxed{コサ}}$ である。

5 以下の空欄アに入る選択肢の番号をすべて解答欄にマークし、空欄イ～シに入る数字をそれぞれ解答欄にマークしなさい。

問 1 任意の実数 a, b から $\frac{a+b}{2}$ を求める演算を、記号 @ を用いて $a@b = \frac{a+b}{2}$ と定義する。このときアが成り立つ。

アの選択肢：① $a@b = b@a$

② $(a@b)@c = a@(b@c)$

③ $(a@b) + (a@c) = a@(b+c)$

④ $k \neq 0$ に対して $(ka)@(kb) = k(a@b)$

⑤ $a@b = a@c$ ならば $b=c$

⑥ $b < c$ ならば $a@b < a@c$

問 2 関数 $y = \frac{10x-3}{8x-12}$ のグラフの漸近線は、 $x = \frac{\text{イ}}{\text{ウ}}$ と $y = \frac{\text{エ}}{\text{オ}}$ である。

問 3 $\int_0^1 (1+x)\sqrt{1-x^2} dx = \frac{\text{カ}}{\text{キ}}\pi + \frac{\text{ク}}{\text{ケ}}$

問 4 $\lim_{x \rightarrow 0} \frac{\tan^2 x}{1 - \cos x} = \text{コ}$

問 5 関数 $y = |x-3| + 7$ は、 $x = \text{サ}$ のとき極小値シをとる。

解答上の注意

1. 分数形で解答するときは、既約分数（それ以上約分ができない分数）で答えなさい。

たとえば、 $\frac{3}{4}$ と答えるところを、 $\frac{6}{8}$ のように答えてはならない。

2. 根号を含む形で解答するときは、根号の中に現れる自然数が最小となる形で答えな

さい。たとえば、 $\frac{\sqrt{\text{ア}}}{\text{エ}}$ に $4\sqrt{2}$ 、 $\frac{\sqrt{\text{ウ}}}{\text{エ}}$ に $\frac{\sqrt{2}}{2}$ と答えるところを、 $2\sqrt{8}$ 、 $\frac{\sqrt{8}}{4}$ のよ

うに答えてはならない。

3. たとえば、 $-\text{オ}x^2 + \text{カ}$ に $-x^2 + 3$ と答えるときは、 オ に1を カ に3をマークし

なさい。また $x^{\text{キ}} - \text{ク}$ に $x - 3$ と答えるときは、 キ に1を ク に3をマークしな

さい。また $\frac{\text{ケ}}{\text{コ}}\pi$ に $\frac{\pi}{3}$ と答えるときは、 ケ に1を コ に3をマークしなさい。